

ぶらり ミュージアム

県立美術館

佐賀県出身の洋画家松尾松涛(1883~1961)は、その画業と生涯の全貌が明らかでない「謎の画家」の一人である。アトリエの火災により、ほとんどの作品と資料が焼失してしまったが、焼失を免れた作品が少数ながら各地で発見されている。いずれも高い描写力を誇り、相当な腕前の画家だったとわかる。

本作「静物(花)」も同様に、花々のボリューム感

「静物(花)」

謎多き洋画家 優れた描写力

や奥行きの表現が的確かつ自然に描写されている。渋い色彩と相まって、情趣あふれる仕上がりとなっている。

松尾は明治16年生まれ、若くして洋画を志し、後には世界中を経巡りながら、数多くの個展を開いたことは分かっている。しかし、この優れた油彩画の技術をどこで、どう身に着けたのかははっきりしない。おそらく未知の作品がまだまだ各地に眠っているだろう。興味は尽きない。

(県立美術館
学芸員 野中耕介)

佐賀市城内1の15の23。電話0952・24・3947。バス停「博物館前」下車、徒歩1分。開館は午前9時半~午後6時。休館日は月曜。



制作年不詳/油彩・カンバス/寸法50・37×61
・47/個人蔵/11月10日まで開催している「玉手箱4 アーティスト再発見1 松尾松涛」(県立美術館)の前期展示(10月10日まで)で公開中である。